

令和6年度事業報告書

令和6年7月1日から令和7年6月30日まで

特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山

1.事業実施

『ユニバーサルデザイン普及啓発事業』

- ・「UD協働のパートナー事業」では、誰もが心地よく安心して暮らせる岡山県の実現に向けて、「UDセミナー」、「おかやまアンバサダー養成講座」(8回)をオンラインと会場とのハイブリット形式で開催した。また、メルマガの発信、ラジオ、テレビでアンバサダー養成講座のPRも行い、岡山県民のUDの理解を深めるようUDの啓発活動を実施した。
- ・その他、「おかやまアンバサダー養成講座」のPRのためUD講座の申し込みのあった団体や大学で講座を行った。
- ・岡山理科大学建築学科の学生を対象に、多様な立場を理解するためUD体験を実施した。

『調査研究・開発事業』

- ・岡山市において、災害時、要配慮者利用施設の避難確保計画及び避難訓練の実施を努力義務から義務に改められたことにより、その作成の記載方法をわかりやすくワークショップ形式で研修会のコーディネートを行った。
- ・矢掛町の一次産品の向上を図るため、イタリア野菜の向上を進めるプロジェクトのアドバイザーを担った。

『情報発信・交流・相談事業』

- ・「第21回おかやま県民文化祭」の期間中、備前県民局管内で開催した「文化がまちに出る！プロジェクト in 備前」のパンフレットと看板の企画及びデザイン作成を担い文化活動の推進に努めた。
- ・岡山県人権・男女共同参画課より、人権啓発オンライン研修会の発信及びサポートを担った。
- ・「とっとり・おかやま新橋館」で開催される「おかやま備中マルシェ2023」において、備中県民局管内の元気集落の紹介及び特産品の情報発信を実施した。
- ・「おかやま木の家推進研究会」の事務局を担った。

『まちづくりモデル事業』

- ・中国地方(山口県、広島県、岡山県)3県の学生と国土交通省中国整備局若手職員地方とともに、地方の過疎化が進んでいる周防大島を訪れ、移住定住、地域活性化についてワークショップを行い、課題や提案を整備局若手職員とともに考えた考え交流を図った。
- ・備中県民局管内のおかやま元気！集落の集落を対象に将来に向けて、これからの持続可能な集落の維持について、笠岡市と新見市で共通の課題について議論するとともに交流を行った。
- ・多発する災害に対し、被害を最小限にとどめるためには、これまで以上に市民・自主防災組織・事業者・行政及び関係機関等が相互に連携し、協働して災害対策をすることが必要とされます。備中県民局管内の市町から選定された地域で地域住民を対象に防災ワークショップを行い防災意識向上に努めた。

『人材育成事業』

「岡山県中山間地域協働支援センター運営業務」では、プロポーザル審査を経て、当NPOが事業主体としてセンター業務を受託。岡山県に登録している「おかやま元気！集落」を対象に地域活性や課題解決に取り組むため、学びあい研修や担い手育成セミナー、マッチング交流会など人材育成を行った。毎年の恒例となった岡山表町商店街において「さとまちフェスタ」を12月8日に開催した。
おかやま元気集落は平成7年4月末で87地域に増えた。

2.事業の実施に関する事項

(1)特定非営利活動に係る事業

ユニバーサルデザイン普及啓発事業

UD協働のパートナー事業

- ・おかやまUDアンバサダー養成講座
- ・UDセミナー
- ・メルマガ発信
- ・県民室 UD 展示
- ・UD 講座

ユニバーサルデザインの考え方や県内の取組事例などを広く県民に伝える「魅力発信大使」として活動する「おかやま UD アンバサダー登録制度」は、令和元年度に開始し、令和 6 年度で 6 回目を迎えた。

令和 6 年度は「おかやま UD アンバサダー養成講座」を、会場参加とオンライン視聴を組み合わせたハイブリッド形式で 8 回開催した。講座では、「UD とは?」、「AI は社会の UD 化を進めているか?」、「合理的配慮の視点で UD を考える」、「UD コミュニケーション」など、専門家による多様なテーマの講義を実施した。

当日の参加者は延べ 316 名にのぼり、後日配信の視聴回数は 435 回に達した。その結果、令和 6 年度は 99 名が新たに「おかやま UD アンバサダー」として登録した。

また、養成講座の広報を目的に、県内の企業や教育機関などで UD 講座を 9 回実施した。

さらに、「UD セミナー」では全盲の弁護士・大胡田誠氏を講師に迎え、全盲の立場からさまざまな困難を乗り越えて弁護士として活動している経験や、全盲のパートナーとの結婚生活、子育ての奮闘など、「人生を楽しむことをあきらめない」生き方について講演いただいた。

そのほかメールマガジンの配信や、ラジオ・テレビを通じて「おかやま UD アンバサダー養成講座」の PR を行った。

	R6.7.1		岡山県内	従事者		受益者の	参加者等	
実施期間	↓	実施場所	きらめきプラザ	人数		範囲・人数	のべ	
	R7.3.31		ほか		5 名		約 800 名	4, 296, 926

UD 体験授業

岡山理科大学建築学科の3年生を対象に UD 体験授業を行った。

車いす体験や高齢者体験、アイマスク体験を通じて、さまざまな立場の人の視点を学び、あわせて、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」の必要性についても理解を深めた。これらの体験から得た気づきを、今後の建築設計に活かしていく内容とした。

	R5.7.1		岡山理科大学	従事者		受益者の	参加者等	
実施期間	↓	実施場所		人数		範囲・人数		
	R5.7.30				4 名		約 65 名	0

岡山県庁 UD 体験会

岡山県建築指導課職員を中心に建築にかかわる職員を対象に、UD 講座、UD グッズの紹介、車イス体験、高齢者体験、視覚障害者体験を実施。県庁内の多目的トイレ、段差など車イス走行でそれぞれの箇所において「出入り」「移乗」「扉へのアプローチ」を確認した。

調査研究・開発事業

				講師としておかやま UD アンバサダーの視覚障害者の立場の柴田氏、内部障害の立場の大塚氏、車イスの立場から亀井氏によりそれぞれの立場の話を聞き今後の業務に活かせる活動を行った。					
実施期間		R6.9.1 ↓ R6.10.25	実施場所	岡山県庁	従事者 人数	5名	受益者の 範囲・人数	参加者等 約12名	24,546
要配慮者利用施設における避難確保計画策定に係る業務				「水防法等の一部を改正する法律」の施行により、要配慮者利用施設の所有者または管理者に対して避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務化により、岡山市が社会福祉施設や病院、学校等の要配慮者利用施設の利用者の円滑な避難の確保を図ることを目指し避難確保計画作成に関する講習会を開催するにあたり、記入方法を検証しより記載しやすい内容とするため調査研究を行い、講習会内容の指導を4回開催した。					
実施期間		R6.10.8 ↓ R7.3.31	実施場所	岡山市役所	従事者 人数	2名	受益者の 範囲・人数	参加者等 約100名	366,383
矢掛町一次産品価値向上プロジェクト -1				イタリア野菜を中心に矢掛町の一次産品のブランド化を目的に、矢掛町、JA と協働し、よりクオリティの高いイタリア野菜を生産し、ブランド化を進める事業を令和3年度秋から始め、令和6年度ではイタリア野菜のPRをより強め、生産者から消費者へ販売も増え、大阪駅、東京高島屋での販売も行った。 並行してイタリア大使館への訪問を実現し、町の広報誌にも記載され、多くの町民がイタリア野菜栽培の様子を知り、2月には「テーブルクロス」の名で東京からツアー客を招き、町民参加イベントも行った。 地域力創造アドバイザーとしてアイデアと適切な助言とイタリア野菜販売の請求書作成の一端を担った。					
実施期間		R6.4.1 ↓ R7.3.31	実施場所	矢掛町	従事者 人数	10名	受益者の 範囲・人数	参加者等 のバ 約1万名	656,058
矢掛町一次産品価値向上プロジェクト -2				矢掛町一次産品価値向上プロジェクトの一環で、矢掛町イタリア野菜の販売を行うに至り、購入者への請求書等の作成、及び集金業務を担った。					
実施期間		R6.4.1 ↓ R7.3.31	実施場所	矢掛町	従事者 人数	10名	受益者の 範囲・人数	参加者等 のバ 約1万名	657,544

	講習会テキスト作成に伴う補助作業			岡山大学工学部西山研究室が行う防災についての市民向け講習会の内容の検討、そのテキスト資料作成の補助を行った。					
	実施期間	R6.10.1	実施場所	岡山市内	従事者 人数	1名	受益者の 範囲・人数	参加者等 のバ	
		R7.1.30						50名	109,091
情報発信・交流・相談事業	令和6年度 人権研修(主任級人権啓発研修) オンラインサポート業務			岡山県人権施策推進課主催の岡山県職員主任級対象の研修会(テーマ:県の施策、アンコンシャスバイアス、UD、LGBTの多様の立場を理解する研修会のオンラインによる配信・録画の技術的サポートを担った。 また、UD 講座も行い UD アンパサダー2 名による多様な立場についての講話も行い UD の推進を図った。					
	実施期間	R6.7.1	実施場所	岡山市内	従事者 人数	4名	受益者の 範囲・人数	参加者等	
		↓ R6.8.15						約100名	179,113
	令和6年度 人権研修(人権啓発研修会) オンラインサポート業務			岡山県人権施策推進課主催による11月25日に開催された人権研修のオンラインによる配信・録画の技術的サポートを担った。 研修会は【今、知っておきたい障害のある人への「合理的配慮の提供」】と題し、美作大学の薬師寺明子氏による講演。					
	実施期間	R6.10.8	実施場所	岡山市内	従事者 人数	4名	受益者の 範囲・人数	参加者等	
		↓ R7.2.14						約100名	109,384
おかやま木の家推進研究会 ーおかやま緑のネットワークー			岡山県産材を使った家づくりの普及活動を行うことを目的に川上～川下まで各業種がそろって情報交換を行える、顔の見える関係づくりが大切と、平成21年度に「おかやま緑のネットワーク」の認証制度を設けて発足。以後会費制で継続的かつ自立的に活動が続けている。 その会の事務局を担う。						
実施期間	R6.7.1	実施場所	岡山県内	従事者 人数	10名	受益者の 範囲・人数	参加者等 のバ		
	↓ R7.3.31						100名	118,365	

文化がまちにある！プログラム in 備前				「第22回おかやま県民文化祭」の期間中、備前県民局管内の岡山市内中心部、及び赤磐市、備前市、瀬戸内市で、ミュージシャンとアーティストが結集する「文化がまちにある！プログラムin備前」の実行員会のメンバーとしてパンフレット、看板の企画、調整、デザインを担当した。 9月15日には岡山市上之町商店街でオープニングイベントを開き、備前地域の魅力をPRするとともに、管内への誘客を図るため開催した。				
実施期間	R6.7.1	実施場所	岡山県内	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	↓				のべ			
	R7.1.24				2名		3000名	521,146
備中地域 おかやま元気！集落魅力発信業務				首都圏からの誘客推進を図るとともに交流人口や関係人口の創出を目的にとっとり・おかやま新橋館で開催された「おかやま備中マルシェ 2024」(10月12日、13日)において、備中地域の特産品や観光の魅力を発信、中山間地域等の豊かな自然や景観、伝統文化や食べ物など、地域資源を紹介し、パネル作成や展示デザイン、販売等を担った。 井原市県主地域の「かかしコンテスト」で制作された「かかし」を会場に置き、来場者の注目を集め、おかやま元気！集落を紹介するパネルに誘導し、元気集落の活動や地域の名所などを紹介した。				
実施期間	R6.8.30	実施場所	岡山県内	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	↓				のべ			
	R7.1.31				2名		約300名	180,128
情報発信・交流・相談事業	後楽園和の感動体験チラシ作成			岡山後楽園では春、夏、秋の幻想庭園が開催され夜の後楽園を楽しむイベント、お殿様の食した御膳を復活し試食会などのイベントが開催されている中、インパウンドの来園者にも日本文化に触れ、より楽しんでもらうため狂言と和菓子についてのイベントが開催されるため、外国人にも目につくチラシ作成を行った。				
	実施期間	R6.10.30	実施場所	岡山県内	従事者 人数	受益者の 範囲・人数		
		↓						
		R7.1.31					2名	約2000名

まちづくりモデル事業

令和6年度
中国地方地域づくり学生フォーラム in
周防大島

11月23日と24日の一泊で中国地方地域づくり学生フォーラムとして周防大島の「グリーンステイながうら」で岡山県、広島県、山口県の大学生と国土交通省中国整備局若手職員等で研修会を行った。
周防大島町における地域活性化の取組、移住者との意見交換や地域活性化の拠点である「道の駅サザンセトとうわ」「夢街道ルネサンス認定地区、岩国往来、柳井日本晴れ街道」そして、「岩国トンネル」工事現場を視察。
人口減少社会における中山間地域や島しょ部における移住定住や地域活性化に向けた現状、課題を整理し、「若者の視点」での解決策を6班に分かれワークショップ形式意見交換を行い提案を取りまとめた。
広島県学生 17 名、山口県学生 14 名、岡山県学生5名、整備局若手職員 17 名参加。
事務局を入れて総勢 64 名で実施し、その事務局を担い、WS ファシリテーターも行った。

実施期間	R6.9.1	実施場所	岡山県内	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者	
	↓				のべ		のべ	
	R7.12.27				10 名		80 名	2, 231, 071

令和6年度
備中地域
おかやま元気！集落ネットワーク事業

備中県民局管内の元気集落を対象に中山間地域等の共通する地域課題を整理し、情報交換できるおかやま元気！集落ネットワーク会議を新見市の新見市唐松地域づくりセンターと笠岡市役所の2か所を会場として開催した。
地域課題について、他地域との違いや課題解決の糸口、地域間連携など参加者みなさんで意見交換おこなった。また、地域で取り組み状況をお互いに把握できるように課題シートを作成して、「現在、取り組んでいる活動」「今後取り組みたい活動」「悩んでいる活動／他の地域に尋ねたい活動」3色の●シールをシートに貼るワークも行った。
また、休憩時間には地域の特産品、草間のコンポート、ねじり菓子(宇治雑穀研究会)スチック菓子(矢掛山之上)を提供し特産品についても議論の対象とした。

実施期間	R6.6.27	実施場所	井原市 笠岡市	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者	
	↓							
	R6.12.31				7 名		約 30 名	179, 596

おかやま元気！集落DX推進事業

備中県民局管内で地域のイベントの開催や、自主防災活動や高齢者福祉、移送支援、環境美化など多岐にわたり地域活動を行っているおかやま元気！集落にて、地域活動にデジタル技術(LINE 公式)を取り入れる研修会を笠岡市六島にて LINE 公式アカウントの立ち上げを目標とした研修会を全 5 回開催した。

実施期間	R6.8.27	実施場所	笠岡市	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	↓						のべ	
	R7.3.31				7 名		約 100 名	329, 604

まちづくりモデル事業

令和 6 年度 備中県民局 防災まちづくり推進事業				備中県民局管内で選定された倉敷市玉島長尾地区、笠岡市小黒崎北地区、高梁市川面地区で防災マップづくりを目的として、防災基礎知識の習得、まち歩きによる危険箇所の点検、災害図上訓練(DIG)等、矢掛町山田地区では地域のハザードマップを学ぶとともに自主防災組織の立ち上げに結び付く啓発を行い避難者カードの作成を行うなど、各地区とも防災意識の向上を図りました。 防災士、地域防災リーダーを対象とした研修会は高梁会場と倉敷会場で、地区防災計画作成に向けた意欲醸成を図るため、地区防災計画の取り組みについて高梁市成美地区の黒川氏による事例発表、参加者みんなで地域の防災力や取り組みについて意見交換を行い、地区防災計画のワークショップを行う。また、各市町の防災担当者の交流も含め研修会も開催した。				
実施期間	R6.8.20	実施場所	倉敷市 矢掛町 笠岡市 高梁市	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	↓				約			
	R7.3.31				200 名		1,924,534	
防災講座 瀬戸公民館				瀬戸公民館にて地域の民生委員、児童委員を対象に防災についてハザードマップの見方や地域の防災リスクについて学び、共助の必要性に気づき、今後の防災活動につなげるよう講座を行った。				
実施期間	R6.1.24	実施場所	矢掛町	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	↓							
	R6.3.15				1 名		約 100 名	16,364
矢掛町中川地区防災講座				実際の避難所になる中川小学校の図面を作成し、中川学区内の住民が 10 テーブルで避難所運営ゲーム(HUG)を実施。 参加者のみなさんは熱心に議論しながら、避難所運営について多くのことを学ぶ機会とした。				
実施期間	R5.10.22	実施場所	矢掛町	従事者 人数		受益者の 範囲・人数	参加者等	
	R5.10.22				2 名		約 60 名	66,161

人材育成事業	岡山県中山間地域協働支援センター業務		中山間地域の活力創出を促進するために中山間地域協働支援センター業務についてプロポーザルによる技術提案を提出し受託。 おかやま元気！集落(以下「元気集落」という。)を支援するため、元気集落への訪問等により、活動状況や課題を把握した上で、市町村等と連携し、課題解決に向けた助言や情報提供、情報発信を行った 令和6年度で支援対象地域元気集落の登録地域は 87 集落に増えている。 担い手セミナーでは元気集落のことを知ってもらい「私だったら、中山間地域で何ができるかな？」を考える講座を全5回開催した。そのうち 2 回は大人の社会見学として百々人形保存活動等されている美作市北和気地区、桃源郷といわれる住民 30 人の矢掛町羽無地区を訪れた。外からの人材の助け、関係人口が集落の維持に繋がるなどそれぞれが課題設定力を身につけられたと感じた。 あり方シンポジウムでは田口太郎氏(徳島大学教授)に基調講演をいただき、人口減少を乗り越える少人口、多人数社会と呼び、外からの仲間を作り、全部自前でやろうとするのをやめて、受援力を高めていくことが大事。 平成 29 年度から始め今年で 7 回目を迎えた「さとまちフェスタ」を 12 月 8 日に岡山市の中心部表町商店街の上之町で中山間地域の魅力発信の場として、開催した。 「おかやま元気！集落」および関係団体、地域おこし協力隊(OB も含む)を合わせて20 のブースが出店。特産品や青果の販売・体験ワークショップも行った。					
	実施期間	R5.7.1	実施場所	岡山県内	従事者 人数	受益者の 範囲・人数	参加者 のべ	
		↓ R6.3.31						
					10 名		約 6000 名	15,702,193

(2)その他の事業

・その他の業務は行わなかった。

活動計算書

令和6年7月1日から令和7年6月30日まで
特定非営利活動法人

まちづくり推進機構岡山
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取会費	108,000	108,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	0	0
3. 事業収益		
まちづくり等事業収益	29,011,048	29,011,048
4. その他収益		
受取利息	8,545	
雑収入	798,529	807,074
経常収益計		29,926,122
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	11,385,834	
法定福利費	1,387,269	
人件費計	12,773,103	
(2) その他経費		
旅費交通費	1,922,451	
通信運搬費	228,214	
消耗品費	836,372	
印刷製本費	475,936	
水道光熱費	205,810	
委託費	9,545,160	
保険料	33,601	
租税公課	33,400	
交際費	14,385	
地代家賃	1,620,000	
修繕費	3,637	
図書費	5,373	
会場使用料	175,355	
雑費	91,612	
その他経費計	15,191,306	
事業費計		27,964,409

2.管理費			
(1) 人件費			
法定福利費	178,184		
福利厚生費	22,764		
人件費計	200,948		
(2) その他経費			
期首たな卸高	17,760		
期末たな卸高	-17,760		
旅費交通費	64,166		
通信運搬費	189,899		
消耗品費	231,107		
印刷製本費	614,648		
水道光熱費	22,759		
委託費	677,188		
保険料	62,610		
租税公課	1,850		
交際費	61,417		
諸会費	26,600		
地代家賃	180,000		
減価償却費	185,168		
会議費	265,842		
図書費	43,344		
衛生費	14,300		
会場使用料	9,091		
雑費	8,982		
法人税等	72,308		
その他経費計	2,731,279		
管理費計		2,932,227	
経常費用計			30,896,636
当期正味財産増減額			-970,514
前期繰越正味財産額			9,964,356
次期繰越正味財産額			8,993,842

貸借対照表

令和7年6月30日現在

特定非営利活動法人

まちづくり推進機構岡山

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	111,994		
普通預金	17,576,325		
商品	17,760		
立替金	101,579		
未収金	9,000		
仮払金	0		
前払金	3,211,389		
流動資産合計		21,028,047	
2. 固定資産			
建物	0		
工具器具備品	0		
一括償却資産	101,000		
敷金	402,000		
固定資産合計		503,000	
資産合計			21,531,047
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	226,650		
未払費用	64,620		
前受金	11,543,450		
預り金	59,185		
未払法人税等	71,000		
未払消費税等	572,300		
流動負債合計		12,537,205	
負債合計			12,537,205
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		9,964,356	
当期正味財産増減額		-970,514	
正味財産合計			8,993,842
負債及び正味財産合計			21,531,047

計算書類の注記

令和7年6月30日現在

特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日 一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定率法を採用しております。

無形固定資産：定額法を採用しております。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	情報発信・ 交流相談事 業	まちづくり モデル事業	調査研究・ 開発事業	人材育成 事業	ユニバーサル デザイン 普及啓発事 業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	108,000	108,000
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 事業収益	1,777,530	5,492,832	1,401,364	15,727,225	4,612,097	29,011,048	0	29,011,048
4. その他収益	0	120,002	678,117	0	0	798,119	8,955	807,074
経常収益計	1,777,530	5,612,834	2,079,481	15,727,225	4,612,097	29,809,167	116,955	29,926,122
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当等	56,818	949,031	0	9,335,945	1,044,040	11,385,834	0	11,385,834
法定福利費	0	0	0	1,387,269	0	1,387,269	178,184	1,565,453
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	22,764	22,764
人件費計	56,818	949,031	0	10,723,214	1,044,040	12,773,103	200,948	12,974,051
(2) その他経費								
商品仕入原価	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	74,110	1,026,452	177,920	283,789	360,180	1,922,451	64,166	1,986,617
通信運搬費	246	3,332	4,500	105,155	114,981	228,214	189,899	418,113
消耗品費	55,174	66,534	680,343	12,389	21,932	836,372	231,107	1,067,479
印刷製本費	166,810	65,165	12,282	187,326	44,353	475,936	614,648	1,090,584
水道光熱費	0	11,378	0	171,676	22,756	205,810	22,759	228,569
委託費	1,043,280	2,440,779	911,231	2,829,061	2,320,809	9,545,160	677,188	10,222,348
保険料	0	19,950	0	13,651	0	33,601	62,610	96,211
租税公課	400	2,600	200	20,200	10,000	33,400	1,850	35,250
交際費	0	8,025	0	0	6,360	14,385	61,417	75,802
諸会費	0	0	0	0	0	0	26,600	26,600
地代家賃	0	90,000	0	1,230,000	300,000	1,620,000	180,000	1,800,000
減価償却費	0	0	0	0	0	0	185,168	185,168
修繕費	0	0	0	0	3,637	3,637	0	3,637
会議費	0	0	0	0	0	0	265,842	265,842
図書費	0	1,500	0	1,600	2,273	5,373	43,344	48,717
衛生費	0	0	0	0	0	0	14,300	14,300
会場使用料	0	16,256	0	101,104	57,995	175,355	9,091	184,446
雑費	7,590	46,328	2,600	23,028	12,156	91,612	8,982	100,594
法人税等	0	0	0	0	0	0	72,308	72,308
その他経費計	1,347,520	3,799,299	1,789,076	4,978,979	3,277,432	15,191,306	2,731,279	17,922,585
経常費用計	1,404,338	4,747,330	1,789,076	15,702,193	4,321,472	27,964,409	2,932,227	30,896,636
当期経常増減額	373,192	865,504	290,405	25,032	290,625	1,844,758	△ 2,815,272	△ 970,514

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	0	0	0	0	0	0
工具器具備品	0	0	0	0	0	0
一括償却資産	404,000	151,500	0	555,500	△ 454,500	101,000
合計	404,000	151,500	0	555,500	△ 454,500	101,000

4. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	0	0	0
役員借入金	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

5. その他の事業に係る資産の残高は、土地・建物が0円、棚卸資産が0円です。

特定非営利活動に係る事業・その他の事業に共通で活用している重要な資産は土地・建物が0円です。

財産目録

令和7年6月30日現在

特定非常利活動法人

まちづくり推進機構岡山

(単位：円)

科 目		金 額	
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	手元有高	111,994	
普通預金	おかやま信用金庫本店	8,095,837	
普通預金	中国銀行本店	2,032,896	
普通預金	中国銀行本店	7,097,070	
郵便貯金	ゆうちょ銀行	4,000	
郵便振替口座	ゆうちょ銀行	346,522	
商品	オープナー、書籍	17,760	
立替金	労働保険料	101,579	
未収金	岡山東税務署	9,000	
前払金	人権・男女共同参画課他	3,211,389	
流動資産合計			21,028,047
2. 固定資産			
一括償却資産	(パソコン)	101,000	
敷金		402,000	
固定資産合計			503,000
資産合計			21,531,047
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	ニックス他	226,650	
未払費用	電気料金他	64,620	
前受金	人権施策推進課等	11,543,450	
預り金	岡山東税務署等	59,185	
未払法人税等		71,000	
未払消費税等		572,300	
流動負債合計			12,537,205
負債合計			12,537,205
正味財産			8,993,842
負債及び正味財産合計			21,531,047

前事業年度（令和６年度）の役員名簿

（令和６年７月１日から令和７年６月３０日）

〔特定非営利活動法人まちづくり推進機構岡山〕

NO.	役職名	氏 名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	代 表 事	トクダ キヨコ 徳田 恭子		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
2	理 事	イノキ ケンジ 猪木 健二		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
3	理 事	ナカムラ ヨシ 中村 陽二		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
4	理 事	ナカムラ リョウヘイ 中村 良平		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
5	理 事	ナカダ ヨシト 仲田 芳人		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
6	理 事	ウメダ ヨシコ 梅田 佳子		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
7	理 事	ヤナギタ コウジ 柳田 宏治		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
8	理 事	ミムラ サトシ 三村 聡		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
9	理 事	ヤマナ チヨ 山名 千代		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
10	理 事	ナカムラ サトシ 中村 聡志		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
11	監 事	ヨシダ ジュンイチ 吉田 淳一		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無
12	監 事	ナガサキ ケンイチ 長澤 健一		令和6年7月1日 ～令和7年6月30日	無